

共用品推進機構だより 2017年03月10日(47)

目次

(209) 共用品推進機構関連記事

▽「わたしは共用品 良かったこと調査／星川安之」

▽「ブログを更新しました！」

(210) その他、各種関連記事

▽「スーツ、車いすで着こなす／花菱縫製」

(211) 新刊紹介

▽『発達のはかりは時代に充ちたか？

療育記録映画『夜明け前の子どもたち』から学ぶ』

▽『教室の困っている発達障害をもつ子どもの理解と認知的アプローチ

非行少年の支援から学ぶ学校支援』

▽『すぐに役立つ入門図解最新よくわかる障害者総合支援法』

▽『ママ、死にたいなら死んでもいいよ

娘のひと言から私の新しい人生が始まった』

(209) 共用品推進機構関連記事

▼「わたしは共用品 良かったこと調査／星川安之」

共用品推進機構では、2013年度より毎年テーマを変え「良かったこと調査」を実施しています。16年度は、家電製品・家事に関して、16の異なる当事者団体の456名から声が寄せられました。

1番「良かった」が多かったのはテレビです。目の不自由な人たちからは、「音声読み上げ機能が便利」、耳の不自由な人たちからは「字幕が付いた番組やCMが増え、友人との会話が膨らんだ」、発達障害の人たちからは「取扱い説明書に、写真・図があり、重要な点は太字や赤字になっていて分かりや

すい」などの声がありました。

2番目はパソコンで、リウマチの人たちからは「ボールペンが握れなくても、キーボードで書くことができる」、高齢の人たちからは「分からない時にサポートセンターが教えてくれる」などの声が寄せられました。

アンケートでは、65の種類の商品に関して回答があり、その商品の出現によってできるようになったものや、視覚的な表示だけでなく、音声や点字、振動などがついたことで使いやすくなったという回答も数多くありました。

さまざまな企業が関係団体と共に、来試行錯誤で行ってきた配慮の一つが、障害のある消費者にしっかりと伝わっていることが分かりました。

この調査結果は、17年5月に共用品推進機構のホームページにアップする予定です。

(シルバー産業新聞 3月10日より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

・2016年度 ニーズ&アイデア フォーラム (NIF)」に出展

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>

(210) その他、各種関連記事

▼「スーツ、車いすで着こなす／花菱縫製」

オーダースーツの花菱縫製はスーツのバリアフリー対応を進める。車いすでの着用を前提としたデザインと機能性を追求し高齢者や障害者が着やすいスーツを発売するほか、目の不自由な人への対応も取り入れる。

16日に開く銀座店など全6店で車いす利用者向けのオーダースーツの展開を始める。座った姿勢を基準に設計し車いすをこぐ際にジャケットの裾がめくれたりボタンが取れたりするのを防ぐ。

目の不自由な顧客に向けた無料オプションの提供も始めた。ジャケットやパンツなどの一定の位置に単純な棒形や丸形の刺しゅうを施す。スーツの組み合わせや表裏、スカートの前後などを識別しやすくする。

(日経MJ 3月10日9面より抜粋)

(211) 新刊紹介

▼『発達のひかりは時代に充ちたか？

療育記録映画「夜明け前の子どもたち」から学ぶ』

滋賀県にあるびわこ学園を舞台に、半世紀前に撮影された療育記録映画「夜明け前の子どもたち」を現代的視点で問い直す。重症心身障害児施設の胎動、異色のドキュメンタリーの製作過程とその波紋などを収録。

編著：田村和宏（たむら・かずひろ）玉村公二彦（たまむら・くにひこ）

発行：クリエイツかもがわ

本体価格：2500 円（税別）

ISBN：978-4-86342-204-9

▼『教室の困っている発達障害をもつ子どもの理解と認知的アプローチ

非行少年の支援から学ぶ学校支援』

医療少年院に勤務経験のある著者が、発達障害をもった非行少年の特徴と、学校で困っている子どもに共通する背景と理解の仕方を説明。具体的な支援方法と学校教育との連携についても解説する。

著：宮口幸治（みやぐち・こうじ）

発行：明石書店

本体価格：1800 円（税別）

ISBN：978-4-7503-4458-4

▼『すぐに役立つ入門図解最新よくわかる障害者総合支援法』

障害をもつ人及び保護者の視点で、障害者総合支援法のサービスの内容・利用手続き、負担する費用などを解説。成年後見制度・障害年金などの福祉制度も取り上げる。平成 28 年 5 月の障害者総合支援法改正に対応。

監修：若林美佳（わかばやし・みか）

発行：三修社

本体価格：1800 円（税別）

ISBN：978-4-384-04743-1

▼ 『ママ、死にたいなら死んでもいいよ
娘のひと言から私の新しい人生が始まった』

絶望の淵にいた私を救ったのは、「死にたいなら、死んでもいいよ」という娘の言葉だった。ダウン症の長男、夫の突然死、大手術からの生還と下半身麻痺、車椅子生活…。著者のこれまでの人生を綴る。娘から母への手紙も収録。

著：岸田ひろ実（きしだ・ひろみ）

発行：致知出版社

本体価格：1400 円（税別）

ISBN：978-4-80091137-7

（編集後記）

全国脊髄損傷者連合会の理事長で弊機構の評議員会会長の妻屋明さん逝去の報せが届いたのは一か月前のことでした。

「車椅子でも随分と不便さを感じなくなってきて生活しやすくなった。社会が変わってきたなと思う」最近、妻屋さんが会議などでよくおっしゃっていた言葉です。

この妻屋さんの言葉は、より多くの人達が使いやすいモノづくりやサービスに関わる人達の気持ちをととても明るくしてくれました。

そんな昨年のある日、妻屋さんが「使いやすいものも増えてきたけど、障害のある者が歳を取ると、今まで使えていたものが少しずつ自分で使えなくなるんですよ。そうすると人に頼らないと何もできない。そういうことは仕方がないし解決するのは難しいでしょうね。でも自分で出来なくなるのは悲しいね」と話されたことありました。

「考えてみます！」とっさに出た言葉は虚しく響きましたが、妻屋さんは上品に笑って「はい、はい」とおっしゃいました。

今後の課題を遺して下さった貴重な言葉の一つとなりました。（森川美和）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>